



独航空見本市に出展

アマテラスなど
都内中小5社 技術力アピール 都が支援

東京都は6月8日からドイツで開かれる国際航空見本市「ベルリン・エアショー2010」で、航空機部品一貫生産格

UPAMATERAS (アマテラス) など都内5中小企業を紹介する。加工部品の出展を通じて高い技術力や品質管理能

力がアピールし、海外航空機メーカーからの受注を目指す。都が実施している航空機産業参入支援事業の一環。アマテラスから塩野製作所(羽村市)、三益

工業(大田区)、吉増製作所(あきる野市)、多摩治金(武蔵村山市)の4社、このほか大和合金(板橋区)が出展する。展示会にはアマテラスグループで加工した部品などを展示し一貫生産体制や技術力をアピールする。

航空機メーカーや部品サプライヤーなど約30社と商談を予定している。アマテラスは都の支援で09年5月に誕生。機械加工や熱処理などで日本トップクラスの技術を持つ10社が結集した。すでに国内航空機部品メーカ

ーから受注したほか、米部品メーカーとも受注交渉を進めている。ベルリン・エアショーは1909年に始まった世界最大級の航空宇宙産業見本市。08年開催時には1127社が出展し、24万人が来場した。